

2016年8月24日

2016年度「大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度」の支援対象

日本社会心理学会
会長 村田光二

2016年度「大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度」の支援対象について、規程に従って下記のように選考を行いました。渉外担当常任理事・唐沢穰氏（名古屋大学）を委員長とし、池上知子（理事：大阪市立大学）、向田久美子（理事：放送大学）、伊藤忠弘（会員：学習院大学）、脇本竜太郎（会員：明治大学）の各氏を委員とする選考委員会が構成され、慎重な審議をお願いしました。その結果、大学院生枠の応募件数9件の中から4名の支援対象候補を、また若手研究者枠の応募件数1件の中から1名の支援対象候補を、それぞれ推薦することに決定しました。これについて、常任理事会および理事会にて審議の後、承認されましたので、ここに発表します。

なお支援金額は、規定に従い「航空運賃の半額＋学会開催日数×5000円」とします。支援対象者の皆さんは、発表の完了後、支援申請金額の根拠となる書類を添えて速やかに学会事務局に申請して下さい。

<支援対象者（五十音順、敬称略）、発表題目、発表学会>

（1）大学院生枠：

・小西 直喜（こにし・なおき）（神戸大学人文学研究科・D1）

Moralistic anger is triggered by violations of socially shared norms

(The 28th Annual Human Behavior and Evolution Society Conference. Vancouver, Canada; 2016年6月)

・水野 君平（みずの・くんぺい）（北海道大学教育学研究院・D1）

The analysis of relationships between intergroup status, Social Dominance Orientation and school adjustment in Japanese junior high school.

(The 18th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology. San Antonio, TX, USA; 2017年1月)

・宮川 裕基（みやがわ・ゆうき）（帝塚山大学心理科学研究科・D3）

Does self-compassion promote personal improvement from regret experiences in Japan?

(The 18th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology. San Antonio, TX, USA; 2017年1月)

・山岡 明奈（やまおか・あきな）（筑波大学人間総合科学研究科・M2）

Mind-wandering improves creative problem solving

(2nd International Conference on Mindfulness. Rome Italy ; 2016年5月)

（2）若手研究者枠：

・荻原 祐二（おぎはら・ゆうじ）（カリフォルニア大学ロサンゼルス校心理学部・研究員）

Cultural change toward greater individualism in Japan: Analyses of human and dog names

(The 23rd Congress of the International Association of Cross-Cultural Psychology. 名古屋 ; 2016年7月)

以 上